

自分の成長を自分で味わう

<できなかつたことがいつのまにかできている自分>

- ある日、6年生の少年は昔使った3年生の算数の教科書をパラパラとめくっていました。「何だ、昔はこんなかんたんな問題を解いていたんだな」と思いました。3年生の時にはなかなか難しくてうまく解けなかつたのに、今見てみると、簡単に解けそうです。当時うまくできなかつたことが、いつのまにかできるようになっていたのですね。その少年は、そのまま3年生の教科書を最後まで問題を解いてみました。おもしろくなってきて、宿題とは別に次は4年生の教科書にも挑戦しました。分からない所が出てきてもほっといて、とにかく最後までやってみようと思ったのです。
- 去年は15メートルくらい泳ぐのがやっとだった3年生は、今年水泳の授業で泳ぎ方や息継ぎのやり方を教わり、授業のたびに取り組んでみたら、8月最後の日の「水泳大会」で25メートルを泳ぎ切ることができました。体も少しずつ大きくなり、体力もついてきたからかもしれません。その次の年は目標を50メートルにして、やはり最後は泳ぎ切ることができました。だんだん水泳がおもしろくなっていったのです。

できなかつたことができるようになると、うれしいですね。これらは、私が昔勤めていた学校の児童が実際にやっていた学習です。人には苦手な気持ちがある場合があります。私は小学生の時に算数が苦手でした。ですから全然勉強しなくなり、中学校に入ってからとても苦勞したのを覚えています。でもどこかでおもしろさに気づければ、授業や宿題もそんなにつらくないのではと思います。

この1学期、皆さんは自分の成長を感じることができたでしょうか。どんなところが成長したでしょうか。1学期を振り返って、自分の成長を味わってみてください。必ずどこかにはあるはずです。

<1学期の総まとめ 全校音楽集会>

7月17日に全校音楽集会がありました。「地球聖歌」という曲を歌ったのですが、最初に前に並んでいる6年生が歌声を聞かせてくれました。少し前から、朝の時間に6年生の美しい歌声が校舎から聞こえていました。こっそりのぞいたところ、一人一人が真剣になって「地球聖歌」を歌っていました。よそ見している人はいません。この日は全校の前で演奏です。小学生らしい無理のない発声、柔らかな声質、体育館に響くハーモニー、とても心地よいひとときでした。歌い終わって他学年に児童が感想を聞いてみます。

「きれいにひびいていた」

「歌声がそろっていた」

「姿勢がよかった」

「低音がひびいていた」

.....

などが出されました。子どもたちはよく聞いていて、6年生の演奏を的確に表現してくれました。「6年生みたいにきれいに歌いたい」「6年生は上手だなあ」といったあこがれの気持ちが芽生え、聞いていた子どもたちに新たな意欲が生まれたことと思います。それは、感想を出し合った後に全校で歌った「地球聖歌」が、一段と体育館に響き渡ったことから分かります。

今年度の重点のひとつに、「たてわり活動」があります。全校を12の班に編制し、班長（6年生）がリーダーシップを取って、5月からは清掃をすべてたてわり班で行ってき



ました。6年生がうまくリードしてくれて、子どもたちは時間いっぱい掃除をするようになり、そして清掃中はとても静かになりました。異年齢の子どもたちによる集団活動は、6年生を見本・手本とし、信頼関係やあこがれ、自信、癒やし、コミュニケーションなどを生み出しています。この音楽集会でも異年齢の児童による学びがありました。6年生をひとつの目標として頑張ろうとする礎がこの1学期にできてきたのではと思っています。子どもたちの頑張りを今後も支えていきたいと思います。

＜各学年の子どもたちの育ち＞

- 1年生：つかまえてきたとんぼをめぐって、一人一人全員が自分事として考え、話し合いをして結論を出すことができました。こうした経験を積み重ね、自分たちの力でできることが増えてきています
- 2年生：運動会では、自分たちのことだけでなく、1年生が分かりやすいように接し、リードすることの大切さを身につけました。お兄さん、お姉さんになった今年、相手意識がどんどん育っています。
- 3年生：「3年生は低学年のリーダである」という意識が育ってきています。運動会やたてわり清掃などの場面で周りにやり方を教えながら、相手意識や責任感が育ってきています。
- 4年生：普段の学習でのあいさつ、話の聞き方、朝・帰りの会の歌、社会見学での班行動、運動会など、高学年の仲間入りをしたという意識が芽生えてきました。全校で整列する時の姿勢や行動に表れています。
- 5年生：普段から、自分たちで考え、自分たちで判断し、自分たちで行動するという生活のスタイルが、当たり前のようにできるようになってきました。登山・自然体験学習でその力が発揮されました。
- 6年生：一人一人が自覚と責任をもって、それぞれの役割をやり遂げました。たてわり班、地区子ども会、1年生を迎える会、運動会。忙しい1学期でしたがよく頑張りました。
- さわやか：みんなでラジオ体操をしてから畑に出かけ、作物を育てています。体操も上達し、根気よく水やりや草取りもしてきました。野菜の販売も行い、人との接し方、お金の扱い、働くことの大変さを学び、自主性や根気強さが身につけてきました。



各学年とも、それぞれの頑張り、それぞれの育ちが見られました。2学期もさらなる成長を楽しみにしています。

＜遠足の扱いについて＞

来年度から小学校の学習指導要領が改訂となります。大きな変化としては、5・6年生の外国語活動が「外国語科」になり、3・4年生に新たに「外国語活動」が導入されます。そのため授業時間数を調整して、新学習指導要領に沿った時間割を編制していくことになります。昨年4月に2小学校が統合となって、それぞれの学校の行事、生活習慣、文化などを引き継ぎました。しかし全部を網羅することは子どもたちにとって負担になる場合もあり、今後も行事や諸活動の精選が必要となります。

本校の遠足ですが、今年度は10月4日に、6年生の修学旅行と同時進行で計画されていますので、1年生から5年生までの子どもたちが対象です。遠足は、学習指導要領に「遠足・集団宿泊的行事」として位置づけられています。

<遠足・集団宿泊的行事>

自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

本校でも大切にしたい行事のひとつです。今後行事や諸活動の精選を考えていく上で、遠足を効率的に行いたいと考え、生活科の乗り物遠足や、場合によっては社会見学的な内容も含めた遠足も考えていくことが必要だと思います。

そこで今年度は、遠足のねらいを明確にして、各学年毎特色ある遠足となるよう計画を進めたいと考えます。詳細は夏休み明けに通知いたしますが、ご理解をいただければ幸いです。

<28日間の夏休み>

明日7月26日(金)から8月22日(木)まで、28日間の夏休みになります。楽しみなことがたくさん待っていることでしょう。長い休みを楽しく健康的に過ごすには、まず生活のリズムをつくるのが条件となります。前半、特に最初の一週間が勝負です。

- ① 勉強を一日のどこでやるか(早朝, 午前, 夜)。
- ② 3回の食事, 入浴を忘れずに取れるか(早寝, 早起き, 朝ご飯, シャワーに頼りすぎない)。
- ③ 猛暑の中, いかにして体調を維持するか(水分補給, 休養, 外出を控えること)。
- ④ 睡眠を登校日と同じように取れるか(8~10時間くらい)。

最初の一週間でリズムをつくりたいですね。熱中症は決して人ごとではなく、身近に起こりうることで捉えたいと思います。ここ数年の暑さは異常です。決して軽く考えることなくお過ごしください。

<1学期, ありがとうございました>

おかげさまで74日間の1学期が終了いたしました。暑さに負けず、体調を崩さず、健康的な夏休みをお過ごしください。そして8月23日に元気な姿で子どもたちと再会したいと思います。ありがとうございました。

